

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成29年3月9日

施設名	高知県立ふくし交流プラザ	所管課	地域福祉部地域福祉政策課
-----	--------------	-----	--------------

1 施設の概要

指定管理者名	(社福)高知県社会福祉協議会	指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
施設所在地	高知県高知市朝倉戊375-1		
事業内容	1. 高知県立ふくし交流プラザの維持管理等業務（施設の維持管理及び貸し出し） 2. 県民に対する介護講座事業の実施 3. 福祉用具の調査研究及び展示・試用貸出等 4. 福祉用具の収集及び保管管理等 5. ふくし交流プラザふれあいショップの運営 6. 自主提案事業 <平成27年度> 1) ケア力向上研修 Step1(人の尊厳を考えるベーシック研修)～Step4(介護技術研修応用編) 介護入門研修 2) 障がいキッズ&パパママ応援事業 3) 生きがいづくり支援事業 ・健康マージャン教室 ・シルバー手づくり展開催事業 4) プラザ企画展		
施設内容	施設名: 高知県立ふくし交流プラザ 設備: 1Fレストラン、2F～5Fに自動販売機設置、駐車場(普通車で209台/無料)完備 面積:【土地】7,570㎡ / 【建物】7,965.24㎡(延べ床面積) 利用時間: 9:00～17:00(ただし、特別に許可された貸室は21:00までとする) 休館日: 毎月第2日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日・12月29日～1月3日 貸室: 各室の面積、定員、利用料金は【別紙1】のとおり		
職員体制	常勤職員: 2.5人 非常勤職員: 4.5人 合計: 7人 ※職員は、介護普及啓発事業、社会福祉センター管理事業、高齢者総合相談事業など、指定管理に係る業務以外の業務を兼務しており、業務割合により職員数を算出しているため、端数が生じている。		

2 収支の状況

(単位:千円)

		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(予算)
収入	県支出金	62,681	61,893	64,704
	使用料・手数料	12,292	12,994	12,777
	負担金	7,592	7,167	6,998
	その他	7,197	5,620	0
	収入計 (a)	89,762	87,674	84,479
支出	事業費	12,353	8,688	6,026
	管理運営費	48,234	51,526	51,139
	人件費	28,499	30,312	27,314
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	89,086	90,526	84,479

3 利用状況

	平成26年度(実績)	平成27年度(実績)	平成28年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	77,421	74,509	78,000
②利用者意見等の反映	○ 貸室利用者アンケート等の実施状況 時期:随時 方法:館内に意見箱を設置し、利用者からの意見を収集。 結果:H27年度は、運営・管理に関する意見等が3件寄せられた。		
	○ 事業参加者アンケート等の実施状況 時期:その都度 方法:アンケート調査による意見収集 結果:参加者の満足度や意見、研修への理解度等を参考に次回以降の事業内容・取組等へ反映している。		
	○ 利用者意見等を踏まえた対策 利用者からの意見を関係者で共有し、速やかに改善に向けた取組を実施している。 ・玄関の花が枯れている、トイレのタオルが水を吸収しない、といった指摘に対して、取り換えを行うなど速やかに対応した。 ・身体障害者用駐車場を必要としていない人が駐車していると思われるケースを指摘され、注意喚起の表示をするなど対応した。		
③その他特記事項			

4 平成27年度業務評価

項目		評価	状況説明
効率的な運営、サービスの向上、施設、設備の管理	適正な管理運営の確保	B	<ul style="list-style-type: none"> 消防計画及び危機管理マニュアルを整備して定期的な訓練を実施し、緊急時に速やかに対処できる体制を整えている。 夜間貸室時は、職員と警備員の2名体制で対応している。
	利用者サービスの維持向上		<ul style="list-style-type: none"> ホームページで貸室の空き状況及び研修等の受講者募集案内等の情報を提供している。また、貸室の下見や問い合わせに対して、丁寧かつ分かりやすいよう努めている。 意見箱への意見は少ないが、玄関の花が枯れているといった対応可能な案件は、速やかに取り換えを行うなど、利用者からの意見を関係者で共有し、改善に向けた対応をしている。
	利用実績		<ul style="list-style-type: none"> 貸室全体の利用日数は延べ1,928日でH26年度より111日(5.4%)減少している。また、利用人数も延べ74,509人となっており、H26年度より2,912人(3.8%)減少している。減少した原因を分析するとともに、ふくし交流プラザのパンフレットを配布するなど、引き続き、利用者の増加につながる工夫に努めていただきたい。 介護・福祉機器等の情報提供及び相談状況は、実人数で1,706件となり、H26年度より81件(4.5%)の減となっているが、要因は、専門相談員の相談日の見直しを実施したことが考えられる。相談日の掲載など、引き続き利用者に対する周知等に努めていただきたい。
	収支の状況		<ul style="list-style-type: none"> 一方、ホールの利用増により、使用料収入は12,994千円となっており、H26年度から702千円(5.7%)の増となっている。

福祉の総合拠点としての情報発信と機能の充実・強化	福祉や介護に関する情報収集及び発信	B	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具コーナーの体制充実や専門有資格者の相談員を配置し、県民への相談助言体制を整えている。福祉用具の利用貸出は1,250点(726件)の実績となり、H26年度より102点(54件)の減であったが、当事業の趣旨と異なる理由による貸出申請に対して、適切な事業者を紹介した結果等と判断されるため、特段の問題は認められない。 通常の福祉機器展以外にも障害児のための福祉機器展を開催し、支援者のネットワークづくりを行った。 シルバー手づくり展(年3回、約1,800人)及び健康マージャン教室(全8回、延べ117人)を開催し、高齢者の健康・生きがいづくりに寄与した。 高知県福祉研修センターと連携しながら、福祉サービスの質向上への取組として、介護専門職向けの研修を習熟度に応じて体系的に実施した。 県内の理学療法士等と連携し、障害児のための福祉機器展を開催、「障害児の家族会」と連携したカウンセリングを実施するなど、多様な組織と連携・協力し福祉の向上、振興に努めた。
	福祉用具の展示及び管理		
	高齢者や障害のある方の社会参加への促進		
	福祉を担う人材の育成		
	関係機関等との連携・協力による、福祉の振興		

項目	評価	状況説明
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね協定書及び平成27年度事業計画書に基づいた管理運営が実施された。 ・高知県社会福祉協議会による管理は第2期、8年目となり、ノウハウも一定蓄積し、高知県社会福祉協議会の持つ幅広いネットワークを生かした安定的な管理運営が行われている。また、運営に対する利用者からの意見について迅速に対応するなど、施設の利便性向上に向けた取組を実施している。 ・一方、利用者数の減少も見られるため、ふくし交流プラザのパンフレットを配布するなど、引き続き、利用者の増加につながる工夫に努めていただきたい。 ・今後も引き続き潜在的な利用者ニーズの把握や利用者の満足度の向上を図るとともに、「福祉の総合拠点」として相談機能の充実や福祉サービスの質向上に向けた取組の強化が必要である。

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの